

事業所名 グループホーム ふるさと

日付 平成 20年 3月 31日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴 7年

[自主評価結果を見る](#) (工事中)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

管理者が代わりスタッフの気持ちを含めて、理念も新しくしたようです。毎月のカンファレンスの中でも管理者と職員の間で理解されているようです。

入居者にはやりたいことを自由にしてもらいたいと考えています。天気の良い日には玄関先にある椅子に座って、みんなでお茶を飲みながら会話を楽しんでいます。外出も頻繁に行っていて、週1回ドライブで気分転換を図ったり、月1回全員で出かけたりしています。また入居者からの要望があれば、その都度天候や他の入居者の様子を見ながら、出かける段取りを計っています。日々の食事ではメニューを決めず、今ある食材をフルに活用し、入居者に何を食べたいのか希望を聞いてから作っています。入居者の中には料理を作ることが大好きな方もいて一緒に盛り上げています。

運営推進会議をやるようになってから近隣との関係がよくなってきたようです。地域の人たちも以前より協力的になり、グループホームで行った夏祭にも来てくれました。また、カラオケや大正琴、民謡などのボランティアとして来てくれるようにもなりました。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

職員間の情報交換も不足しているのかも知れませんが、ユニット間の交流が少ないように感じました。また「私のユニットでは」という言葉がよく聞かれました。それは代表者と管理者の関係からも言えるようです。それぞれに考えがあるようですが、グループホーム全体としてどうするかを、もう1度話し合うことが必要だと思います。

家族からのアンケートをみると理解不足もありますが、多少不満を持っている方もいるようです。職員の方は話を十分に伝えていると思っているようですが、家族は直接関係していないのでよく理解していません。もっと相手の目線になって伝達すれば家族の理解力もさらに増すと思います。

業はグループホームで管理し入居者に手渡していますが、渡しただけでその場を離れています。飲み終わるまできちんと確認をしてください。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>「認知症という病気があっても、家庭的な環境の中で、自信を取り戻し人間らしく、ゆったり穏やかに、一人一人の生活を大切に、その人らしさを引き出そう。」を理念にしています。</p> <p>排泄時にはトイレのドアを開けるなど、基本はきっちり出来るようにと考え、危ないことは事前に察知して行動するよう職員に伝えています。精神面では、グループホームは生活の場にあるのでそれを支える人間として共に暮らしていこうと思っています。日頃から管理者は「流れ作業にならないように」と職員に伝えています。また車椅子の方が多くなってきましたが、排泄時など少しでも歩いてもらおうと職員共々励ましあいながら介助に動んでいます。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>入居者には無理強いをせず自由にしてもらっています。外に出たがるときには制止することなく職員が一緒に行っています。料理の好きな人には毎日の食事の準備を手伝ってもらっています。</p> <p>グループホームの近くで見つけたよもぎを使ってお餅を作ったりしています。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>入居者の居室に入る時は、本人に確認を取ってから入室しています。またトイレ時の言葉かけは他の入居者に分らないよう、本人にだけ聞こえるように十分配慮しています。</p> <p>職員は、入居者本人が嫌がることはしない、したいことをしてもらえるようにと考えています。植木が好きな入居者には居室内で水やりなどをしてもらっています。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>・月1回外部の研修に参加しています。その内容をミーティングの時に他の職員にも伝えていきます。又、排泄介助や入浴介助の勉強会にも参加し、レベルアップに努めています。</p> <p>・介護福祉士やケアマネージャーの資格を職員に取得させるためにバックアップ支援をしています。</p>		